

長崎県議会議員 ごうまなみ

県政報告 2015年 創刊号



共生・共奏の世界 ◆ 笑顔と命の輝きのために

県議会議員選挙におきましては皆さまのご支援を賜り、再び県政の場に送っていただいたことに感謝申し上げます。

皆さまにとっての2015年はどのような1年でしたでしょうか？

私は選挙開票の翌々日から2か月間、息子と一緒に入院し、病院から議会へ通う生活を送りました。その後は母の入院、他界と続きなかなか議会に関すること以外の活動ができませんでした。

来年はしっかりと勉強会や研修会にも参加し、議員として見識を広げて県民のみなさまのお役にたてるように頑張っております。

ここに県政報告を作成いたしました。いつも応援してくださる皆さまに、ご一読いただくと幸いです。

ごうまなみ



暮らしやすい長崎への提案 [議場にて]



- バリアフリーのまちづくり
- ・ がんばらんば大会に向けた多目的トイレの整備について
- ・ 県営バスターミナル

大人も利用しやすいユニバーサルベットの設置を、強く要望しました。長崎空港には設置されています。街の中にも設置できるとよいですね。

バスで移動される際に介助を必要とされる方は、前もってインターネット予約でも申し込みを行うことができますようにしていただきたいと強く要望いたしました。

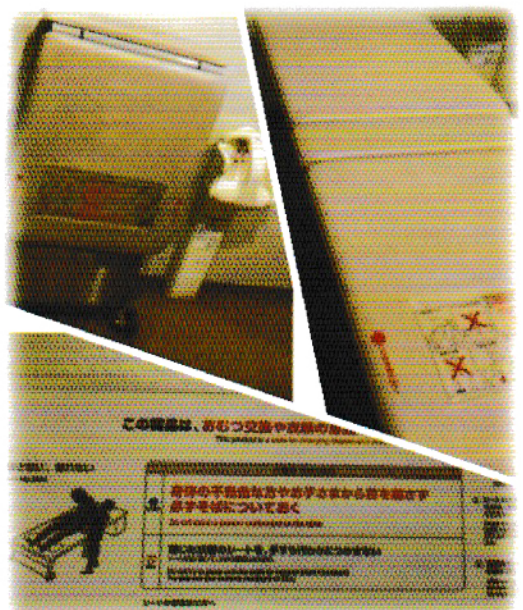
安心して移動できると、楽しみも倍増しますね。



障がい者団体の皆さまにも現場検証をしていただきながら進め、早急に改善を検討していただきました。車イスが上がりえない高傾斜の段差を解消し、車イスのかた視覚障がい者の方どちらにも安全に通行できるようにしました。

車イスの方も分かりやすいように、車イスのマークも付けていただきました。

・ 茂里町交差点の歩道の段差解消について





活動報告

その他の一般質問

一般質問に立たせていただき、左記の答弁をいただきました。

①女性の活躍推進について

〔知事より〕

〔新女性就労総合サポート〕により、女性が働きやすい環境整備や登用促進を働きかけ、女性活動推進フォーラムを開催する。その後、ながさき女性活躍推進会議の設置が実現した。

②長崎県の療育について

〔福祉保健部長より〕

「こども医療福祉センター」では言語聴覚士の人員の減少に対して、代替職員の確保や正規職員の採用に努める。また障がいのある子ども達の受け入れである、県こども医療福祉センターの初診待ち期間の短縮にも引き続き努める。

〔こども政策局長より〕

地域療育機能強化の取り組みとして、児童発達支援センターの充実を図り、県内の障がい児支援体制の構築に努める。

また、「しおさい」については、地域支援マネジャーを増員する。また県北に週2回の相談窓口を設置し、離島では市町村などへの助言指導を行っていく。

③長崎県特別支援教育推進計画について

〔教育長より〕

特別支援教育コーディネーター育成について県のほうでも研修会を行っていく。コーディネーター連絡協議会を設置し、育成を積極的に進めていく。

また、個別の教育支援計画の作成と活用について、作成の意義や作成方法の研修を引き続き行い、すべての学校で作成されるように普及に努める。

④長崎県の土曜日の教育活動推進について

〔教育長より〕

「土曜の教育活動推進プロジェクト」大変有意義だと考えている。各市町は教育委員会とも協議しながら、実践に向けた検討を進めていく。

⑤人口減少、少子化対策、安心して出産と子育てができる支援について

〔福祉保健部長より〕

国の地域少子化対策強化交付金活用により、健やかな妊娠・出産サポート事業の啓発を行っている。保育士の確保や離職を防ぐため、給与改善の助成を行い潜在保育士の活用や処遇改善を図りながら保育士の確保に努める。

⑥医科・歯科の連携について

〔福祉保健部長より〕

地域医療介護総合確保基金を活用し、引き続き取り組んでいくことしており、今後とも、こうした事業を通じて、県歯科医師会等と連携を図りながら、在宅において、歯科医療体制の確保に努める。

⑦特別支援高等部設置について

教育長より、必要性について十分認識しているとの答弁をいただいた。

現在では、長崎県特別支援教育推進基本計画第三次実施計画のなかの新たな取り組みとして、平成28年度長崎特別支援学校高等部の設置が掲げられた。

⑧現在長崎県で認定される、くるみん企業の申請条件と長崎の条件に合ったくるみんの見直しについて

〔県民生活部長より〕

「ながさき女性活躍推進会議」の女性活躍推進について自主宣言をしていた。多く企業には、数値目標の設定を義務づけるものではないが、管理職、リーダー等の女性比率だけでなく、女性の職域拡大や、子育て中、それから子育て後に再就職した女性の活躍支援など、小規模な企業でも実践可能な目標設定を想定している。実践しやすい目標から、より多くの企業や団体等に宣言をしていただき、本県における女性の活躍推進の取組が広がっていくと期待している。

〔補足〕「くるみん」とは事業主は、従業員の子育て支援のための行動計画を策定・実施し、その結果が一定の要件を満たす場合、厚生労働大臣より受け取ることができる認定のこと。

視察報告

■ 常任委員会 ■

◆ 環境生活委員会

伊万里港のコンテナターミナルを視察し、今後、長崎のコンテナターミナルが活用されるためには、施設整備が必要であると思いました。



◆ 文教厚生委員会

福祉関係のロボットや障がい者の移動支援機器であるJINRIKIを体験しました。長崎は斜面地も多くあり、車イスの方が体験できる環境は限られているのが現状です。これからは、環境場面のみならず、物的な支援機器、人の心のバリアフリー化を実現し、子ども達にも多くの体験を推奨できる長崎県にしたいですね。



「高齢者も若者も、男性も女性も、障がい者も、長崎に生まれ、暮らしてよかった。」そう感じる人がもっともっと増えますように。そう願い「医療・福祉・子育て・地域活性化」を柱に活動してまいりました。

みんながつながり支えあってハーモニーを奏でるまちづくりと長崎の未来のために頑張ります。

■ 特別委員会 ■

◆ 防衛関連産業振興等雇用対策特別委員会

大村・佐世保・五島・対馬にある自衛隊駐屯地や護衛艦や戦車などの装備品を見るために視察しました。



◆ 観光振興等対策特別委員会

世界遺産登録に向けて整備中の黒島教会や、パールシーリゾート、佐世保クルーズ船ターミナル、また国外では香港を視察しました。

船から降りた後の、二次交通の整備などがこれから長崎県における観光促進のためにも不可欠であると思いました。



暮らしやすい長崎への提案 [研修会・勉強会にて]

長崎県の医療と介護の過疎地における地域包括ケアシステム構築に向けて、ケアステーション設置の提案やリハビリテーション専門家の起用が重要であるとのご提案に基づき、今後の長崎県独自のシステム構築のあり様について協議しました。



■地域包括ケアシステムの構築に向けて



■医療・看護の専門家にとともに
周産期医療や医師、看護、介護人材の確保や女性の働きやすい職場環境について協議しました。またがん検診の受診率向上に向けたキャンペーンに参画し、検診の重要性について皆さまとお話して参りました。

■より政治への関心を 女性議員の活動を知って いただく機会を

長崎の女子短大生に向けての意見交換会に参加しました。今後の選挙権引き下げに伴い18歳未満の方々にも政治をより身近に感じていただけるように、また女性議員の活動についても関心をもっていただけるようにお話し、意見交換を行いました。
興味深く聞いてくださり、活発な質問に、これからの長崎県がより開かれた未来へとなることが期待され、嬉しく思いました。

■女性議員協議会にて DV、ストーカー、セクハラ対策強化について 中村知事へ申し入れを 行いました。

私は御礼の挨拶を担当し地方創生法が成立し、今後一層の女性が活躍しやすい環境整備が必要であること、女性の人権と命を守るという意識を強く持ち、離島の多い長崎県ですがどこでも安心して生活できるシステム構築に向け取り組んでいただきますよう要望しました。党派を超えた女性議員協議会としては初めての申し入れとなりました。



■少子化対策に向けて 長崎市保育会との意見交換会を行いました。

■動物管理センター殺処分 ゼロへの取り組みについて

環境生活委員会の質問において、県民生活部より答弁いただきました。命を大切にすることを大切にする観点からも、処分ではなくアニマルシエーターなどで最後まで看とれる仕組み作りを提案しました。



ごう まなみ

長崎県議会議員
文教厚生委員会副委員長
観光振興等対策特別委員会委員長

最後までお読みいただきありがとうございます。ごう まなみに対するご意見やご要望などをお寄せ下さい。
またこの県政報告に対するご意見などもございましたら、お待ちしております。

宛先 ごう まなみ事務所

長崎県長崎市中里町1568-7

TEL. 095-813-3055

FAX. 095-813-3053

製作…ごう まなみ・西本 加奈

印刷…電脳工房(障害福祉サービス事業所)